



国際ロータリー第2640地区

和歌山東南ロータリークラブ【週報】

会長:塩崎和仁 幹事:坂本武司 会報委員長:小林一三

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-serc.org <http://wakayama-serc.org/>

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第1,第2,18:30~(夜) 第3,第4,第5,12:30~(昼)

先週例会報告 会場監督 中岡隆文

ゲスト:岡三証券 和歌山支店長 小坂真一様、豊田早紀様

《 会長挨拶 》 塩崎和仁会長

- ① 「2024年の国内外の株式相場展望」
 岡三証券株式会社 和歌山支店長 小坂真一様 本日は宜しくお願ひ致します。
- ① 『和歌山南RCとの合同例会』2月14日(水)18時30分~
- ② 「I.M. (インターシティミーティング)」3月17日(日)
- ③ 「令和6年能登半島地震」義援金 2月13日(火)に
 9RC共同奉仕事業として和歌山県へ寄託を行います。



《 幹事報告 》 坂本武司幹事

- ① 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。
 ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
 ・わかやま新報 年始広告(1/1)掲載分
 ・1月17日(水)例会場で回ささせていただきました「令和6年能登半島地震支援金」BOX 募金22,000円を地区へ25日(木)に送金いたしました。送金明細書を置いております。
- ② 和歌山RC、和歌山東RC、和歌山南RC、和歌山北RC、和歌山中RCの例会場 ダイワロイネットホテル和歌山が2月-4月迄の改装工事に伴い、例会場が変更となっております。変更先は各テーブルに置いてあります。その間の変更に伴うサインの受付は会場が工事中のためございません。とのことです。
- ③ インターシティミーティング第3組ご案内 ホストR.C.:和歌山中R.C.
 日時・場所:3月17日(日)13:00~16:30(登録受付12:30~) ホテルアパローム紀の国
 テーマ:「ロータリーとして和歌山市の活性化のために何をすべきか」
 第1部:講演「和歌山市の未来」和歌山市長 尾花正啓様
 第2部:市内9R.C.各発表・パネルディスカッション
 当クラブは寺下会員より発表頂きます。皆様のご参加宜しくお願ひ致します。
- ④ 2月25日(日)10:00-16:00 ローターアクト地区献血活動が行われます。
 場所はイモール北花田(堺市)、いこらも〜る泉佐野(泉佐野市)、オークワ ロマンシティ(御坊市)です。コロナ感染者・インフルエンザ感染者と寒さ厳しい時期が重なり献血へご協力頂ける方が少ないので、多くの皆様のご協力、宜しくお願ひ致します。また、献血活動と並行して骨髄バンクドナー登録の推進が行われるそうです。



本日の出席報告									
会員総数	39名		出席者	出席率	寄付金	ニコニコ	米山記念 奨学会	ロータリー 財団	東南 育英会
出席免除会員	2名	1/31	20名	52.63%	累計	1,526,189	161,000	229,000	10,000

《 ニコニコ箱報告 》 中曾真二郎会計

岡三証券 和歌山支店長 小坂真一様：

卓話御礼は貴クラブ奉仕活動にお役立てください。

坂本君：岡三証券(株)小坂支店長、本日はよろしくお願ひします。

溝落君：久しぶりに鐘を付かせて頂きます。



《 ローターリー財団 》

溝落君：梅の花が見頃です。

中岡君：うれしい事がありましたんで。

小林君：趣旨に賛同して。

山田君：情報規定委員会からのテーマは「例会出席率を高めるための討論会」です。

皆様よろしくお願ひ致します。

中曾君：先日はありがとうございました。

《 委員会報告 》



ロータリー情報・規定委員会 山田さち子委員長

第3回 IDM テーマについて「例会出席率を高めるための討論会」

和歌山東南ロータリークラブの今後の繁栄活性化の為にまず必要なのは例会に参加出席することだと思います。例会場がガラーンとしていては活気がありません。ビジター又は卓話をお願いしてお越し頂いた場合でも申し訳なく思います。

会員の皆様にも急な用事が出来る事もあるかと思いますが、最近出席されていない会員様に紹介者の方が電話を掛けるとか……etc. 皆様のご意見をお聞かせください。



「例会司会進行」 中岡会場監督



「ゲスト紹介」 手拝親睦委員

♪ ソング斉唱 ♪ 「我等の生業」 山田会員



外部卓話「2024年の国内外の株式相場展望」

岡三証券株式会社 和歌山支店 支店長 小坂真一様



初めに皆さまに注意していただきたいことは投資詐欺です。SNS等の普及で投資詐欺の手口は巧妙になっております。著名人の画像を加工し、あたかもその著名人が投資で成功しているかのような偽の記事を作り、「投資方法について知りたい人はここをクリック」などサイトに誘導することでお金を騙し取るといった手口です。大手SNSでもこのような広告が掲載されておりますので「絶対儲かる」などと書いているものにはご注意ください。

それでは経済の話させていただきます。現在はインフレ時代が到来しております。世界の人口は80億人程度ですが2050年には97億人程度と予想されております。新興国中心に人口が増えるため生活水準があがり、エネルギー・食料不足になると考えられています。よって資源の奪い合いにより価格は上昇圧力となります。また、2018年まではソ連崩壊をきっかけとし米国を中心としたグローバル化が進みました。中国が世界の工場となり、安い労働力を使いモノを世界に安定供給しデフレ時代であったわけですが、米中貿易摩擦の激化をきっかけとし米国中心の日本を含む西側諸国と中国中心のロシア、サウジアラビア、アフリカ諸国に分断された時代となっております。中国のロックダウン実施、脱民主化の影響によりサプライチェーンの再構築が進む流れと同様に、香港市場に集まっていた投資マネーがアジアの一角として日本市場に流れてきております。インフレ時代では債券よりも不動産、株、金への投資が有効であると考えられており、外国人投資家による日本企業の再評価と相まって今後は日本株式に注目しております。

今年、日経平均株価は更に上昇しており、バブル時の高値38915円まであと3000円程度という状況であります。新NISA制度がスタートしており、つみたて投資枠120万円と成長投資枠240万円の合計360万円に投資枠が拡大しました。配当に対する税も非課税となるため高配当銘柄に注目が集まっています。また、昨年東証はPBR(株価純資産倍率)が1倍割れの企業に対して改善要求を出しました。PBRとは解散価値を表す指標ともいわれておりPBRが1倍割れの企業は1倍以上へ改善する動きが加速しております。改善施策としては、利益を更に追求するか、自社株買いをするか、増配をするかの3つとなります。PBR1倍割れの企業は高配当銘柄であるケースが多く、投資対象としては注目できます。また、別のテーマとしては半導体にも注目しております。昨年からはChatGPTなどの生成AIが注目されておりますが、今年はAIを搭載したスマホが発売され、普及率も上がり、既に成長鈍化したといわれていたスマホが一新される可能性があります。先日、サムスンからS24という機種が発表されましたが英語を話す人と電話する際にこちらが日本語で話すと相手には英語で聞こえ相手が英語で話すとこちらには日本語で聞こえるといったAIを活用した翻訳機能が搭載されております。スマホには先端半導体が使われており、先端半導体を作れる数少ない企業で、熊本にも第2工場まで建設予定となっているTSMC(台湾セミコンダクター)などのスマホ関連企業には注目できると考えます。我々の生活をより快適にしていくためには半導体の性能が更に上がっていくため半導体市場は今後も拡大すると予想します。



「COP28 (国連気候変動枠組条約第 28 回締約国会議)で、地域主導の解決策、パートナーシップ、対話を強調するプレゼンテーションとワークショップを実施」

MY ROTARY ニュース・特集記事「ニュース」 05-Dec-2023 文: Etelka Lehoczky より抜粋

第 28 回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP28)で、ロータリーの専門家が、気候変動と健康、貧困、その他の要因と関連する 20 以上のセッションを主催しました。また、ゴードン・マッキナリー会長は、気候に関連した災害が精神衛生に及ぼす影響について講演しました。

ドバイでの開催となった 2 週間の会合は、気候問題に取り組む世界最高の意思決定プロセスです。197 の国と地域から 7 万人を超える代表団が集まり、数千の非政府組織や企業なども参加しました。ロータリーは、今回が 3 回目の出席となり、地域主導の解決策、パートナーシップ、対話の重要性を強調して伝えました。「今年の世界各地での記録的な気温は、気候変動に対する早急な対策の必要性を浮き彫りにしました」とマッキナリー会長。「また、気候変動がグローバル・メンタルヘルスの分野でも甚大な破壊的被害をもたらしていることも証明されました」

マッキナリー会長は、暴力や精神的苦痛の発生率の高さに猛暑がどのように関連しているかを示す研究結果を指摘します。また、気候変動のために若い人びとが感じている不安についても言及します。

持続可能な未来の形成において若い世代が中心的な役割を担うことを認識し、ロータリーは、COP28 に参加する 22 名の青少年ボランティアを支援しました。この支援により、気候変動に関する議論に若い声を反映させ、学習の機会と国際的な経験を若い人たちに提供することができます。

ロータリーが提供した 28 のセッションでは、ロータリー財団専門家グループのメンバーによるプレゼンテーションが行われました。Nilgiris West ロータリークラブ (インド、タミルナドゥ州)の会員、ミーナクシ・ヴェンカタラマンさんは、生物多様性の損失をもたらす侵入種について話しました。また、South Ukiah ロータリークラブ(米国カリフォルニア州)会員のサルバドール・リコさんは、地域社会が主導する流域保護活動について紹介しました。

さらに、『The Renaissance of Smart Energy』の著者で、環境の持続可能性ロータリー行動グループのメンバーであるエリフ・セリン・カリックさんが、人工知能がエネルギー、農業、災害への耐性といった分野にどのような革命をもたらすかについて講演しました。

アラブ首長国連邦のロータリークラブによる協会のヤシーン・モハメド・ジャファー・モフセン会長は、企業との協力を通じて環境プロジェクトに資金を提供する方法を紹介しました。これらのほか、フードシステム、先住民の土地の権利、および関連するトピックに焦点を当てたセッションも開催されました。

社会的弱者の支援から、公共部門と民間部門の協力関係の構築まで、ロータリー会員は、環境問題への意欲を高め、行動を促しています。アラブ首長国連邦の会員は、政府と協力して 5 万本のマングローブの木を植えています。海岸線と海洋生物の保護に役立つマングローブ林の回復は、ロータリーでも力を入れて取り組んでいる活動の一つです。「世界中の熱帯・亜熱帯地域にあるマングローブの生態系は海岸線に面しており、危機に瀕している」と話すのは、絶滅危惧種のためのロータリー行動グループのリーダーであるクリストファー・ブットックさんです。「急速な海面上昇と、沿岸開発の必要性により、これらの生態系はその存在を脅かされつつあります。政府や地元地域社会と協力し、マングローブの回復プロジェクトを支援することは、ロータリーにとってまたとない機会となります」

ロータリーの COP28 代表団には以下のリーダーが含まれます: パリー・ラシン(ロータリー財団管理委員長、ジョン・ヒューコ(国際ロータリー事務総長)、ジュディス・ディメント(ロータリー代表ネットワーク代表者)、モハメド・デラワー・アリー、(アラブ連盟ロータリー代表)、ヤサール・アタシク(環境の持続可能性ロータリー行動グループ委員長)、K. ニール・ヴァン・ダイン(水と衛生に関するロータリー行動グループ委員長)。

国際ロータリーは地域社会と協力し、安全な水と衛生設備を整え、貧困から人びとを救済し、持続可能なエネルギー技術を推進することで、長年にわたり環境保護に取り組んできました。ロータリー財団は、世界中のロータリー会員が率いる環境プロジェクトに 2,370 万米ドル以上を提供してきました。

